



アラムの里

第 50 号

発行日 令和8年 1月31日 編集・発行 グリーンアラム広報委員会

郵便番号: 382-0925 住所: 長野県須坂市大字仁礼7番地10 電話番号: 代表 026-215-2662

年頭所感



理事長 町田 貴志

新年あけましておめでとございます。

昨年を振り返ると、記録的な猛暑や周辺でも相次いだ熊の出没など、自然環境の変化を強く感じる一年でした。また、物価や光熱費の高騰は一人ひとりの暮らしのみならず、介護事業の運営にも大きな影響を及ぼしました。このような厳しい社会情勢の中にあっても、日々現場を支え、サービスの質を守り続けてくれた職員一人ひとりに改めて深く感謝申し上げます。

そのような中、グリーンアラム福祉会は昨年「介護職員の働きやすい職場づくり厚生労働大臣奨励賞」を受賞することができました。これは、これまで進めてきた職場環境改善や処遇改善の取り組みが一定の評価をいただいたものであり、現場で工夫と努力を重ねてきた職員全体の成果であると受け止めています。一方で、この受賞を到達点とするのではなく、より一層働きやすい職場づくりを進めていくことが、法人としての重要な責務であると考えています。

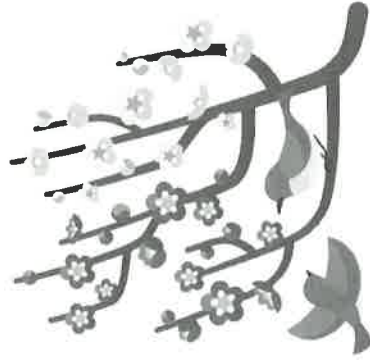
また、本年は議論が進んでいる次期介護報酬改定を見据えた準備が本格化する年でもあります。制度の動向を注視して、サービスの質の向上と経営

の安定を両立させる必要があります。そのためには、社会や地域、制度の変化に対して「変わらないこと」と「変わっていくこと」を見極めて、自らのサービスについて考えていく必要があります。これからもグリーンアラム福祉会は自ら考えて行動していく、積極的に新しい取り組みを続ける組織でありたいと考えています。

昨年、各事業所において稼働率の大きな向上が見られたことは、本年に向けた明るい兆候の一つだと言えます。しかしこれは、経営状況の改善というよりも、サービスを必要としている方々に対して私たちが積極的に関わり、支援を届けてきた結果であると考えています。地域の中で求められる役割を果たし続けることこそが、私たちの原点です。

今後も、職員一人ひとりが利用者様の尊厳を大切に、同時に職員同士がお互いを尊重し合える職場を、全職員が一体となって実現していくことを目指してまいります。そのことが、結果として利用者様の安心や満足につながり、地域から信頼される法人であり続ける力になると確信しています。

本年が、皆さまにとって健やかで実り多い一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。



厚生労働大臣表彰 奨励賞を受賞しました

令和7年12月22日、当施設において「令和7年度介護職員の働きやすい職場環境づくり 厚生労働大臣表彰 奨励賞」の授賞式が執り行われ、対象施設として介護老人保健施設ウイングアースが表彰されました。

当日は、長野県介護支援課 今井政文課長より表彰状を拝受いたしました。



グリーンアラム福祉会では、「介護職員の働きやすい職場環境づくり」を重要な柱と位置づけ、生産性向上・人材育成・待遇改善の3点を中心に取り組んでまいりました。

生産性向上の面では、介護ロボットやICT機器の導入、電子記録化の推進、多職種連携による業務改善を行い、職員の身体的・精神的負担の軽減を図ってきました。

人材育成においては、キャリアパス制度の整備や段階別研修の充実により、職員一人ひとりの成長と定着を支援しています。また、業務改善発表会の実施を通じて、職員の主体性や意欲向上にもつなげてきました。

待遇改善については、子育て支援制度の拡充、公認心理師によるカウンセリングの導入、保育園との連携など、ライフステージに寄り添った職場環境の整備を進め、安心して長く働ける職場づくりに取り組んでいます。

これらの取り組みが評価され、今回の受賞につながったことを、職員一同大変光栄に感じております。

今回の受賞は「介護老人保健施設ウイングアース」となりましたが、当法人が運営する他の2つの特別養護老人ホームをはじめ、各介護サービス事業所においても同様の取り組みを行っています。

今後も、グリーンアラム福祉会が進める「介護職員の働きやすい職場環境づくり」が、地域の皆さまの質の高い介護サービスを提供する信頼の証となるよう、さらなる向上を目指してまいります。



左から今井課長、田幸管理者、町田理事長、中嶋副管理者

アルム祭

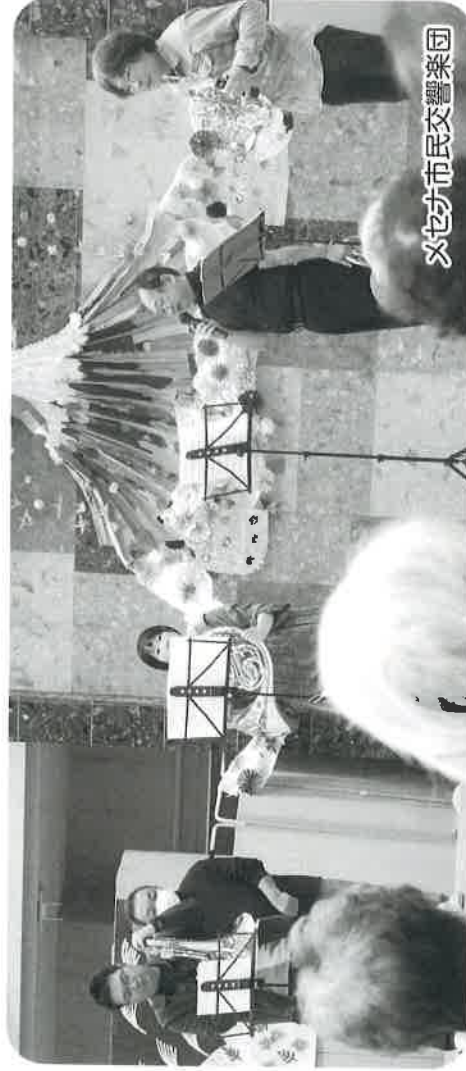
11月8日(土)、2019年以來6年ぶりとなるアルム祭を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響により、長期間開催することができませんでしたが、今年ようやく復活することができました。今回は感染対策を考慮し、地域の皆さまへの全面開放は控え、ご家族限定での開催とさせていただきます。

当日は、チャリーディング少年団「須坂コルツ」、メセナ市民交響楽団、ナーレフアマモ(フラダンス)の皆さまにご出演いただきました。須坂コルツおよびナーレフアマモの皆さまは、今回が初めてのご出演でした。

特に須坂コルツは、全国大会でも上位に入る実力を持つチームで、来年には米国遠征を予定しているそうです。当日は小学生から高校生まで、約40名の女の子たちが元気



須坂コルツ



メセナ市民交響楽団



ナーレフアマモ

いっぱいの演技を披露してくれ、会場は一気に明るく華やかな雰囲気になりました。3メートルを超える高さの組体操の演技は、目の前で見ると圧巻の迫力でした。

今回のプログラムは、ダンス、演奏、踊りと、それぞれ異なる表現形式による発表で構成いたしました。利用者様もご家族と一緒に鑑賞され、普段とは違ったにぎやかな雰囲気を楽しまれています。舞台発表後には、「すごかった」「良かった」といった感想も多く聞かれました。

アルム祭はここ数年開催できませんでしたが、今年無事に復活することができました。来年以降も継続して開催できるよう、感染症に負けず、地域に開かれたアルム祭を目指していきたいと思います。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もグリーンアルム福祉会をどうぞよろしくお願いいたします。2020年がスタートし、あつとつ間に新しい年の日常が動き始めています。

昨年を振り返ると、物価高やエネルギー価格の暴動、全国各地で発生した自然災害など、私たちの暮らしに大きな影響を与える出来事が続いた一年でした。特に近年は、地震、多発するゲリラ豪雨、大雪など「想定外」と言われる災害が身近なものとなり、防災や備えの大切さを改めて感じさせられたと同時に、地域の助け合いや人々とのつながりの温かさが、こうした困難な状況の中で大きな力になることも実感しました。

また、社会全体でデジタル化やAIの活用が急速に進み、医療や介護、福祉の現場でも少しずつ変化が広がっています。便利さが増す一方で、直接顔を合わせて言葉を交わし気持ちに寄り添う大切さはこれからも変わらないでいたいと思います。何気ない挨拶や笑顔、短い会話の積み重ねが、日々の安心や元氣につながるのではないでしょうか。

寒さ厳しい季節となり、インフルエンザなどの感染症も気になる時期です。体調管理に気を配りながら、無理せずできる範囲で体を動かし、人とつながる時間を大切にしていきたいですね。(原田)